

茶の間

まちの動き



寄付への感謝の手紙

～土幌町中央中～



6月22日、土幌町中央中学校の図書委員会委員長の飯島陸斗さん(3年)が、(株)平田建設(長谷川雅毅代表取締役社長)を訪れ、図書購入費として寄付をいただいたお礼の手紙を、長谷川社長に渡ししました。同社は平成17年から毎年寄付をしており、今年で16回目。飯島委員長は寄付で購入した本を設置している平田文庫コーナーの写真も一緒に渡し「毎年ありがとうございます。全校生徒一同、大切に読ませてもらっています」とお礼の言葉を伝えました。

農業者年金基金理事長 賞受賞 ～農業委員会～

土幌町農業委員会(渡邊睦実会長)へ独立行政法人農業者年金基金の西恵正理事長から農業者年金理事長賞が贈られることとなり、6月26日、町長応接室にて、伝達式が行われました。この賞は、農業者年金の加入促進活動に積極的に取り組み、加入者数上位の農業委員会に表彰されるもので、令和元年度の新規加入者部門全国8位、女性新規加入者部門全国4位の2部門を受賞しました。6月17日に札幌市で行われる予定だった表彰式が新型コロナウイルスの影響により中止となったため、この日、小林町長から渡邊会長に賞状と記念品が手渡されました。



家畜の御魂を供養

～JA土幌町～



7月3日、家畜品評会場内の獣魂慰霊碑前にて、JA土幌町(國井浩樹代表理事組合長)主催の獣魂慰霊祭が執り行われ、関係者ら20名が出席しました。慰霊祭は家畜の御魂に感謝し供養するため、毎年家畜品評会に合わせて行っていました。今年も新型コロナウイルスの影響により慰霊祭のみの実施。神事が執り行われた後、國井組合長、小林町長や生産者らが玉串を捧げました。小林町長が「家畜に感謝しつつ、町の農業が更に発展することを願う」とあいさつ。國井組合長が畜産事業の発展を祈念し、牛乳で乾杯して締めくくりました。

空き家を使い消防訓練

～土幌消防署～

7月9日、土幌消防署が取り壊し予定の空き家を使用した消防訓練を行いました。実際の火災発生時は、家屋の状況や要救助者の有無など、情報の共有が重要なため、基本的な消火や救助訓練のほか、情報伝達を重視して行いました。火災以外の情報はないという想定の中、署員は手際よく消火活動を行い、要救助者に見立てたダミーの人形を家屋の1階と2階からそれぞれ1名ずつ救助しました。西部綱樹警防第1係長は「意見が飛び交い、指揮系統が一本化できないのが課題」と話す一方、「署員はその場で考え、臨機応変に対応していた」と講評しました。

